

# 事務事業評価シート

(平成 24 年度実施事業)

事務事業名	国民体育大会開催事業			事業コード	3129
所属コード	049100	課等名	国体推進室	係名	総務企画担当
課長名	大志田 研	担当者名	坂本 淳	内線番号	8251
評価分類	<input checked="" type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 公の施設 <input type="checkbox"/> 大規模公共事業 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 内部管理				

## 1 事務事業の基本情報

### (1) 概要

総合計画 体系	施策の柱	共に生き未来を創る教育・文化	コード	4
	施策	生涯にわたり楽しめるスポーツ・レクリエーションライフの実現	コード	43
	基本事業	スポーツ・レクリエーション活動の充実	コード	431
予算費目名	一般会計 2 款 1 項 15 目 第 71 回国民体育大会開催事業 (004-02)			
特記事項	「総合計画主要事業」			
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 単年度繰返 <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度	開始年度	24 年度	
根拠法令等	スポーツ基本法, 国民体育大会開催基準要項			

### (2) 事務事業の概要

平成 28 年開催の希望郷いわて国体 (第 71 回国民体育大会) の実施に向けて, 平成 27 年度に第 71 回国民体育大会盛岡市準備委員会を設立し, 平成 25 年度には実行委員会へ改組し, 市民総参加のもと, 企業, 団体, ボランティアなど, 共に大会成功を目指す事業。

### (3) この事務事業を開始したきっかけ (いつ頃どんな経緯で開始されたのか)

平成 24 年に教育委員会から市長部局 (市民部) にスポーツ分野を移管し, 同年スポーツ推進課内に国体推進室が設置され, 第 71 回国民体育大会盛岡市準備委員会を設立, 平成 28 年の希望郷いわて国体の開催に向けて準備を進めている。

### (4) 事務事業を取り巻く現在の状況はどうか。(3)からどう変化したか。

平成 24 年 7 月に日本体育協会の理事会において, 希望郷いわて国体の開催内定, 平成 25 年 7 月には開催決定を受ける予定である。

開催 3 年前となり, 行政のみならず盛岡市民の総力を結集して国体の成功を目指す。

## 2 事務事業の実施状況 (Do) . . . . .

### (1) 対象 (誰が, 何が対象か)

市が, 第 71 回国民体育大会盛岡市準備委員会へ補助金を支出する。

準備委員会は, 総会等諸会議の開催, 広報啓発活動, 競技運営及び先催市の視察等を行い, 平成 28 年開催の希望郷いわて国体の準備を進める。

### (2) 対象指標 (対象の大きさを示す指標)

指標項目	単位	22 年度 実績	23 年度 実績	24 年度 計画	24 年度 実績	26 年度 見込み
A 盛岡市開催競技決定数(正式, 特別, デモスポ, 障害者)	競技	10	10	10	12	17
B						
C						

### (3) 24 年度に実施した主な活動・手順

- ・第 71 回国民体育大会盛岡市準備委員会を設立し, 総会, 常任委員会, 専門委員会等の諸会議を開催した。
- ・第 71 回国民体育大会盛岡市開催推進総合計画及び年次計画を策定した。
- ・中央競技団体の正規視察を受けて, 競技会場の準備を進めた。
- ・ぎふ清流国体の視察及び事業概要説明会に出席し先催市の情報を収集した。
- ・岩手県国体準備委員会事務局等関係機関と連絡調整を行った。

### (4) 活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)

指標項目	単位	22 年度 実績	23 年度 実績	24 年度 計画	24 年度 実績	26 年度 目標値
A 盛岡市準備委員会の事業費	千円	0	0	1,274	845	36,616
B						
C						

### (5) 意図 (対象をどのように変えるのか)

国体は, わが国最大のスポーツの祭典であり, これを契機に競技力の向上はもとより, 市民一人ひとりが生涯にわたってスポーツを楽しみ, 感動を分かち合い, スポーツを通じた元気なまちづくりを進めるとともに, 国体成功のために, 市民, 企業, 団体, ボランティアが積極的に参画する機運を高めていく。

### (6) 成果指標 (意図の達成度を示す指標)

指標項目	性格	単位	22 年度 実績	23 年度 実績	24 年度 計画	24 年度 実績	26 年度 目標値
A 国体ボランティア登録者数	<input checked="" type="checkbox"/> 上げる <input type="checkbox"/> 下げる <input type="checkbox"/> 維持	人	0	0	0	0	500

B	<input type="checkbox"/> 上げる <input type="checkbox"/> 下げる <input type="checkbox"/> 維持						
C	<input type="checkbox"/> 上げる <input type="checkbox"/> 下げる <input type="checkbox"/> 維持						

### (7) 事業費

項目	財源内訳	単位	22年度実績	23年度実績	24年度計画	24年度実績
事業費	①国	千円	0	0	0	0
	②県	千円	0	0	3,043	2,953
	③地方債	千円	0	0	0	0
	④一般財源	千円	0	0	2,534	1,531
	⑤その他( )	千円	0	0	0	0
	A 小計 ①～⑤	千円	0	0	5,577	4,484
人件費	⑥延べ業務時間数	時間	0	0	8,000	8,000
	B 職員人件費 ⑥×4,000円	千円	0	0	32,000	32,000
計	トータルコスト A+B	千円	0	0	37,577	36,484
備考						
②県費は、「緊急雇用創出事業」						

## 3 事務事業の評価 (See) . . . . .

### (1) 必要性評価 (評価分類が「内部管理」の事務事業は記入不要)

#### ① 施策体系との整合性

希望郷いわて国体開催を契機に競技力の向上はもとより、市民一人ひとりが生涯にわたって楽しめるスポーツライフの実現、感動の分かち合い、スポーツを通じた元気なまちづくりに参画できることから整合性が取れている。

#### ② 市の関与の妥当性

法定事務

国民体育大会開催基準要項により主催者は、日本体育協会、文部科学省及び開催地都道府県と定めがあり、各競技会については、日体協加盟競技団体及び会場市町村を含めたものとする定められている。

#### ③ 対象の妥当性

法定事務

国民体育大会開催基準要項により主催者、参加者が定められている。

#### ④ 廃止・休止の影響

国体は、県が開催の申請をして、日本体育協会理事会において開催決定される事業のため廃止・休止は出来ない。

(2) 有効性評価（成果の向上余地）

市民協働の推進や競技関係者との連絡を密にして、競技大会のスムーズな運営と全国から参加いただく選手・役員のおもてなしを心掛けていく。

(3) 公平性評価（評価分類が「内部管理」の事務事業は記入不要）

国民体育大会開催要項により、主催者、参加者等の定めがある。

(4) 効率性評価

費用対効果を上げるためには、県及び施設整備を行うスポーツ推進課と連携を取り、必要な施設整備を最小限の予算で効率的に行い、国体準備及び競技運営を進めて行く。

#### 4 事務事業の改革案 (Plan) . . . . .

(1) 改革改善の方向性

希望郷いわて国体成功のためには、組織の一部だけでは難しく、全庁的な組織や民間活力、そして市民が一体となって準備を進めなければならない。

今後は、国体準備委員会から実行委員会へ改組、庁内推進本部の設置など組織体制の強化及び市民への周知・参画を効果的に行っていくことが必要である。

(2) 改革改善に向けて想定される問題点及びその克服方法

希望郷いわて国体がいつ開催され、どんなものなのか、何をどうすればいいのかが分からないといった市民、企業、団体、ボランティアなどが想定される。今後、国体の意義やそれぞれの具体的な活動について効果的な周知方法により、意識の高揚と主体的に参画することを促し、市民協働の国体を目指して行く。

#### 5 課長意見 . . . . .

(1) 今後の方向性

- 現状維持（従来どおりで特に改革改善をしない）
- 改革改善を行う（事業の統廃合・連携を含む）
- 終了・廃止・休止

(2) 全体総括・今後の改革改善の内容

国体開催競技競技関係団体等と連携を取ることはもちろんのこと、市民が中心となった運営、おもてなしが出来るよう、国体開催までに様々なイベントや体験会、市民運動を実施するための道筋を立て、市民の機運の醸成を図っていく。